平成27年1月1日



らいかい恵子 議員便り

73090-9655-1143

合志市議会議員 来海恵子 合志市幾久富1642-38

新年明けましておめでとうございます!みなさま方には良い年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。議員は公職選挙法で選挙区には年賀状を出せないので、13年間元旦から議員便りを配っています。見かけたら、声をかけてください。今年も、みなさまと議会・行政のパイプ役として頑張ります。(*´▽`*)

1月 cdak

154 号

【平成26年12月議会一般質問から抜粋】



水道管の現状と耐震化について

来海: H22 年 6 月議会で耐震化について同様の質問を行いましたが、今現在耐震化がどれくらい進んでいるのか、また水道管以外で問題点はあるのか伺います?

上下水道課長:水道管の耐震化については、平成24年度に第2期水道ビジョンを策定し、耐震化に取り組んでいます。水源地から配水池へ水を送る基幹管路の導水管は、約11.4km中、約5.7kmが耐震適合管となっており、耐震適合率は50%となっています。また、配水池から各家庭へ水を送る配水管は、約304.5km中、約45.4kmが耐震適合管となっており、耐震適合率は14.9%となっています。管路全体の、耐震適合率は16.2%となっていますが、幹線ともいえる口径150ミリ以上の水道管つきましては、約68.4km中約40.4kmをダクタイル鋳鉄管に替え、耐震適合率は59.1%となっています。今後も計画的に耐震化を進めていきます。特に配水池は平成22年度に耐震構造計算を行い、耐震レベルが不足する施設は、新設や更新を行い、すべての施設を耐震構造物とし、最大震度6~7の地震が起きても、機能を維持できるように整備をするよう、現在取り組んでいるところです。

来海:金額に現れない「漏水」が問題としてあるのではないでしょうか?

上下水道課長:本市の水道管も敷設後、30年から40年以上経過し老朽化しており、漏水も多発しています。年間の漏水修繕件数は300件を超え、有収率も平成25年度は85.3%と低く、約15%の水が途中で失われています。平成25年度に市全体の漏水調査を実施し、本年度は漏水が多い地域(西須屋団地、黒石団地、泉ヶ丘団地、永江団地)の詳細な調査を行っています。その結果が出たら、漏水の多い路線から優先的に、耐震化も含め、順次、敷設替えを行うこととしています。

来海:これからの水道事業で、ライフラインを維持するために値上げ問題も含めて耐震化 に取り組むべきではないのでしょうか?

上下水道課長:水道は一番大事なライフラインということで、東日本大震災を経て、耐震化の流れは更に強くなっています。一方、水道事業の収支状況は、平成25年度末で約1億8千7百万円の利益剰余金が発生し、剰余金の合計額は約20億円となっております。ただ、耐震化も含め第2期水道ビジョンで計画している施設等の整備を完了するためには、今後70億円以上の経費が必要となる見込みですので、慎重に使い方を考えて行かなければなりません。また、水道料金は3年ごとに見直しを行うことになっていますが、これからの事業の進捗状況では、水道料金の値上げの必要性について「上下水道事業運営審議会」などで、十分に検討を行う必要が有ると考えています。

親業推進について

来海:9 月議会で、地域で防犯力を高めるために全家庭に学校の連絡票を配布したらと 提案しましたが?

教育審議員:総務課と連携し、1月の中旬に配布予定で進めています。

来海: H24 年 9 月議会の一般質問に、「親学びプロジェクト」の一環として研修を実施したいと答弁されました。その後の経過と、現在の考えは?

教育審議員:「親の学びプログラム」の保護者対象の研修会は、本年度も実施され、また、このプログラムを進行するトレーナーの養成が合志市でも行われ4名の方が活躍しています。各学校、園(4校実施)では、保護者を対象とした「子育て講演会」等をそれぞれに実施し、今後は、より連携が深まるような講演会を教育委員会として検討していくところです。

来海:その時に、親子のきずなを高める「親守詩!」をポエムコンクールにも取り入れたい

との答弁がありましたが?

教育審議員:「ことば教育担当者会」にて説明を行い、本年度の応募作品の中に数校より「親もりうた 守詩」の応募がありました。

来海:本来なら家庭、幼稚園、 保育園などで、就学前に教える べきところなのでしょうが、子ど もたちのノートの取り方や、姿勢、



鉛筆の持ち方が非常に悪いのですが、1年生から指導しているのですか?

教育審議員:各学校で取り組むべき課題です。ある学校では、学校全体で学習を支える基盤として、「ノート指導」に全学年で取り組み、少しずつ定着していると報告を受けています。姿勢、鉛筆の持ち方は、1年生の学習を始めるに当たって、まず、最初に取り組む内容です。ただ、生活様式の変化などの影響からか、箸の持ち方が定着しておらず、そのことが鉛筆の持ち方にも影響しています。姿勢については、ゲーム機に向かう猫背の姿勢がそのまま教室での姿勢につながっていると指摘する声もあります。「幼・保、小、中連携協議会」の中で、提案していきたいと考えています。

伝統文化の伝承・啓発について

来海: 国は伝統文化の継承について力を入れ、他の自治体も能やお語いなどの伝統文化の継承に力を入れだしました。国の補助事業でもあり、合志市でもぜひ力を入れていただきたいのですが?

生涯学習課長: 平成 27 年度は、文化芸術自主事業の一環として、能楽の舞台公演を計画して行きたいと考えています。

来海: 合志市には竹迫観音祭り、高千穂神楽、須屋神楽などがあり、子ども達に継承しています。 ぜひ、市の催しなどで発表の機会を与えて子ども達に達成感を味あわせ、市民に伝統文化を知らせる機会を持たれたらいかがでしょうか?

生涯学習課長:運動会や文化祭などの学校行事、また、一堂に会しての公演や発表会な

どを行う事については、関係団体の意向を踏まえ、市として、文化会館の活用など積極的 に支援していきたいと考えています。

通学路の安全について

来海: 拾八町笹原線(陸上自衛隊北熊本自動車教習所の西側から笹原区の公民館前を通って、黒石原演習場に通じる市道)は、子ども達の通行も多く、また、抜け道になっており車がスピードを出し危険です。一部で舗装されていない所もあります。道路部分も旧合志町以来30年以上打ち替えておらず、危険で尚且つ痛んでいるので、整備していただきたいのですが?

建設課長:ご指摘の歩道のない舗装の狭い部分については、舗装と未舗装部分に段差ができ水溜りができる状態なので、応急処置として砂利を敷き段差の解消を図りました。まとまった規模の舗装の打ち替えについては、路面の傷み具合や各地区からの要望等を勘案して、本年度に市全体の道路舗装維持管理計画を策定しますので、計画に基づき順

次舗装の打ち替えを行っていく予定です。

来海:南ヶ丘小の通学路、自称永江味千ラーメン交差点は児童の7割が通学し、最近空き地が住宅地に開発され、信号の位置も変わり歩道が狭く危険です。以前からスクランブル交差点にしてはと提案し、地元自治会からも要望が出ていますがいかがですか?



総務課長:児童が横断歩道からはみ出して危険なので、県公安委員会に上申し、大津警察署から、26年度内にスクランブル交差点化の工事を行うと連絡をいただています。

来海:職員が約310人います。310人の目が通勤途上等で子ども達の危険な場面を目にすることがあると思います。自分の部署と関係なくても、気づいたら連絡し改善する。職員全員が、安全安心の目になるという感覚を持ってほしいのですが?

市長: 改めて、そういう感覚を持つように指示したいと思います!

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 TEL/FAX 248-8956

*

携帯 090-9655-1143 E-Mail rai-ok@nifty.com http://raikaikeiko.com/